

高等学校	テーマ	支え合う喜び		
	ねらい	地域社会への貢献をとおして、社会の一員としての自分を感じ、人に支えられて成長してきたことを自覚し、人を支えることの喜びを感じる。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動等の体験活動をとおして、感謝されることや役に立てることの喜びを感じさせる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動等の体験活動をとおして、相手を支えることによって、自分も支えられていることに気づかせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動等の体験活動を計画することによって、人に喜んでもらえるにはどうすればいいのかを考えさせる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア体験をする。 ボランティア活動の留意点について整理する。 子どもの家庭環境や心身の状態等を把握し、事前事後の個別指導を充実させる。 家庭や地域との連携の上、学習や体験内容に配慮する。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間等 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の留意点について調べて話し合う。 ボランティア団体を調べてボランティアの体験をする。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見を集める。 「子どもから励まされたり、勇気をもらった一言」 ゲストティーチャーとしてボランティア活動をしている人に話を依頼する。 ボランティア活動の場所を選択し、依頼をする。 	<p>ボランティア活動の計画・立案</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分はどんなことができるか。 どうすれば役に立てるか。 どうすれば喜んでもらえるか。 <p>ボランティア活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所・幼稚園での活動 福祉施設・医療施設での活動 清掃活動 等 <p>ボランティア活動を振り返っての話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動した結果や成果はどうか。 自分はこの活動から何を得たか。 <p>ゲストティーチャーの話</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動をしている人の話を聞く。 <p>読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 『おおきな木』（篠崎書林） <p>ビデオ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 『震度7・阪神大震災の教訓 こころのケアとボランティア』（NHK「震度7・阪神大震災の教訓」制作委員会）等 『明日に生きる』（兵庫県教委）の活用 「今の自分に何ができるか」 「できることから始めよう」 <p>保護者の方の「子どもから励まされたり、勇気をもらった一言」に基づく話し合い</p>	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰かの役に立ちたい。 どうすれば喜んでもらえるかな。 自分は、こんなこともできるんだ。 役に立ててとてもうれしい。 ボランティアをさせてもらって、よかった。 最後までやり遂げたぞ。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を継続する。 学習した体験について家族と話し合う。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の意義について考えさせることができたか。 地域社会に貢献することで、社会の一員としての自分を感じ、人を支えることの喜びを感じとらせることができたか。